



センターだより

第29号 令和6年2月1日

イエス!

自分にイエス!⇔自己肯定感

白岡市教育支援センター



子どもたちに目標を聞いてみました

所長 蔦澤 透

前号で、中学3年生の大きな目標である(であろう)高等学校進学について取り上げました。年のはじめにあたり、子どもたち自身が、一年の、または3学期の目標をどのようにとらえているか聞いてみました。

中学3年生は、やはり高校受験で合格を勝ち取ることです。小学6年生も進学を視野に入れています。そのために卒業までの3学期を大切にするという決意です。その他、学習や読書についての目標もあれば、自分の短所や生活を改善するといった目標もあります。貯金やお金の無駄使いをしないというのは、お年玉のことでしょう。「学校に行く」と力強く書いた生徒は登校を続けています。どの子も目標に向かって努力をしていくはずです。

この質問に加えて、「子どもは、どうして勉強しなければいけないか」についての考えを聞いてみました。以下、子どもたちの言葉をそのまま掲載します。



- 今の社会が成り立っているのは大人達や歴史上の人物達が知恵を出し合ってくれているお陰で、その知識を子どもの頃から学んでおかないと、世代が変わった時、日本の発展が止まる・退化してしまうから。
- 「三角形の公式なんて使わない」なんてへりくつ言わずに、未来の日本を任された自覚・責任を持って、未来の日本・世界のためにも勉強は必要だと思いました。
- 子どもの頃勉強しなかった大人が、大人になって勉強する訳がないので、子どものころから勉強を習慣づける必要がある。
- 社会に出た時、他人に迷惑をかけない・恥をかかないため。
- 自分の望む道を選んで生きられるから。
- 大人になるための必要な知識などを磨くため。
- 視野や価値観を広げるため。
- 社会に出て苦労しないように。
- 自分のなりたい職業になるために。
- 自分の将来のため。
- 将来のため。
- 将来困らないようにするため。
- 勉強をすれば色々なしながとれ、さまざまな場所に就職できるから。



「なぜ」「どうして」に対して自分なりの解を出せることが勉強の成果であると思います。子どもたちはすでに高いレベルの解釈力を身につけています。引き続き自分の将来のために勉強し、学習成果の指標となる語彙力を高めてくれることでしょう。

